

島根県中山間地域研究センター 地域研究科 研究報告会



未来志向で考えるこれからの地域づくりの処方箋

A FUTURE-FOCUSED APPROACH TO COMMUNITY EMPOWERMENT

参加費
無料

どなたでもご参加
いただけます

2026
1/27 火
13:30-16:30
(開場 13:00)

会場

島根県民会館 大会議室 島根県松江市殿町158

zoomでも同時配信します。 **要申込み**

お申し込み方法

申し込みは「しまね電子申請サービス」をご利用ください
<https://ttzk.graffer.jp/pref-shimane/smart-apply/surveys/0886300762639124224>



県民会館来場定員100人

申込締切：1月15日(木)

プログラム

1 地域研究科の紹介 13:30～13:45

2 個別研究報告 13:45～15:30

他出子と関係人口から考える地域づくりの新しい循環
～ふるさとを離れて暮らす人との“縁”を地域の力へ～

主任研究員 東 良太

ふるさと学習が育む子どもたちの郷土愛
～若者が関わりたい地域の姿～

専門研究員 皆田 潔

地域づくりからの少子化対策
～婚姻や定住のマインドを育む地域の力～

研究統括監 有田 昭一郎

3 総括報告 15:30～16:30

今後10年間の中山間地域づくりに必要な視点
～子育て世代定住を要に「地域づくり」、「地域福祉」、
「生活サービス維持」、「産業振興」を組み直す～

- 過疎化に伴う諸問題は、中山間地域に限らず都市部にも大きな影響を及ぼします。当センターでは、元気な中山間地域をつくるため「未来志向」というキーワードで今後10年間を見据えた地域づくりのあり方を探究してきました。
- 本報告会では、今ある地域資源（人・自然・文化など）を活かし、また地域外の資源（人など）も活用し、さらには、行政の施策も組み合わせながら、持続的に発展する地域づくりをご提案します。

個別研究報告の概要

01 他出子と関係人口から考える地域づくりの新しい循環 ～ふるさとを離れて暮らす人との“縁”を地域の力へ～

主任研究員
東 良太

ふるさとを離れて暮らす地域出身者（他出子）や関係人口との“縁”に着目し、地域の担い手不足にどう向き合っていくべきかを考えます。また、ふるさとを離れて暮らす2,000人に実施したアンケート調査から、ふるさととの関係性のあり方を探り、地域づくりの新しい循環と可能性を提示します。

02 ふるさと学習が育む子どもたちの郷土愛 ～若者が関わりたい地域の姿～

専門研究員
皆田 潔

地元への愛着を育むため中学・高校で取り組まれる「地域学習」や大学・専修学校における「地域志向教育」を経験した若者の地域づくりへの関心度はどのように変化したのでしょうか。若者の関心を踏まえ、地域活動に参画する際の受け皿となるコミュニティが備えておきたい体制や取り組みを提示します。

03 地域づくりからの少子化対策 ～婚姻や定住のマインドを育む地域の力～

研究統括監
有田 昭一郎

これからの少子化対策は、長い目でみた婚姻や定住マインドの醸成が重要であり、特に子どもの頃のふるさとでの社会関係や体験が深く影響することが、研究で明らかになりました。本報告では婚姻や定住への分野横断的な取組や、地域づくりが果す役割の重要性について提示します。

総括報告の概要

今後10年間の中山間地域づくりに必要な視点 ～子育て世代定住を要に「地域づくり」、「地域福祉」、 「生活サービス維持」、「産業振興」を組み直す～

総括報告者 研究統括監 有田 昭一郎

人口減少は、中山間地域を支える、①世帯、②地域、③生活サービス、④産業の分野に大きく負の影響を及ぼしています。地域、自治体は今後とも、定住・少子化対策に全力で取り組む必要がありますが、限られた人材と財源の中で対処せねばなりません。本報告では、人口減少が①～④の分野に起こす問題を可視化した上で、10年先を見据えた視点で、地域づくりのポイントを提起します。